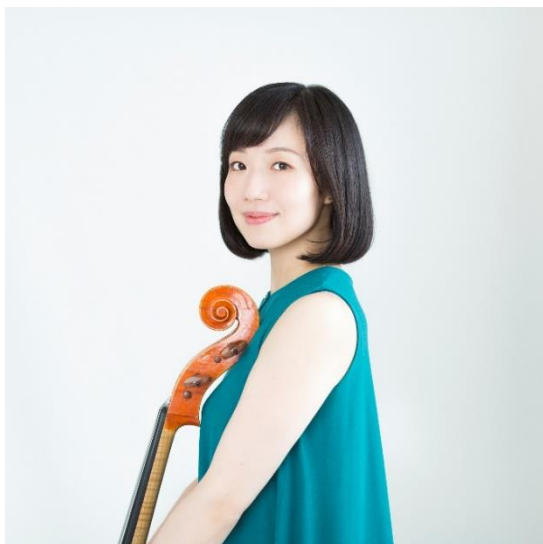


演奏者のご紹介

チェロ 永富 さおり (ながとみ さおり)



仙台市出身。

3歳よりピアノを始め、中学校でホルンを学ぶ。宮城第一女子高等学校理数科入学と同時にチェロと出会う。震災後 NPO 法人イエローエンジェルの支援を受け、2013年桐朋学園大学卒業。国際音楽祭 NIPPON マスタークラス、草津夏期国際音楽アカデミーマスタークラス修了。第45回及川音楽事務所新人オーディション最優秀新人賞第2位。室内楽や国内オーケストラでの客演など、各地で演奏活動をする傍ら、プログラムノートの執筆も行っている。

バンドネオン 渡辺 公章 (わたなべ きみあき)



幼少より矢野吉晴氏の下でピアノを学ぶ。大学在学中フランスに留学、バンドネオン奏者ファン・ホセ・モサリーニ氏に出会い、ジュヌビリエ地方国立音楽院でバンドネオンを学ぶ。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。その後、フランス音楽の紹介と日仏間の音楽家の交流を目的とする NPO 法人「日仏楽友協会」のプロデューサーとして多くの演奏会、講習会を企画する。タンゴ・グループ「タンゴ・アリエント」主宰。2015年より「吉田正記念オーケストラ」のバンドネオン奏者。2017年、舞台『ラストダンスーブエノスアイレスで。』にて劇中の生演奏を担当。2021年アストル・ピアソラ生誕100周年記念コンサート「ピアソラの軌跡」を企画、出演。2022年6月初のソロ・アルバム『LA ROSA DE LOS VIENTOS』をリリース。現在は仙台を中心として各地で演奏活動を行い、またバンドネオンとピアノのレッスンも行っている。Web サイトは tangoaliento.com